2021年 栽培日記

JA滋賀蒲生町

Vol.3　ハウスめくり編

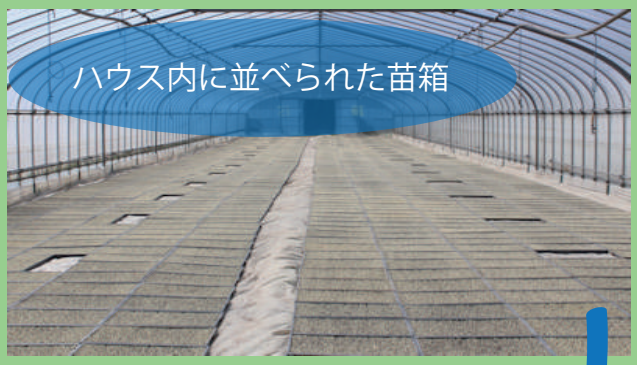
〔撮影日：2021年4月12日〕育苗センター内の出芽室に保管された苗箱から順調に出芽し、次は生育するために苗箱を育苗用ビニールハウスへと運びます。
運んだ苗箱は職員が手作業でハウス内に並べ、田植えができる状態になるまで大切に育てられます。

トラックで運ばれてきた苗箱

トラックから苗箱を運ぶ職員

ハウスめくり（苗箱ならべ）は、苗箱を1日に何千枚も手作業で並べるため、たくさんの人手が必要となります。JA全職員が当番制で出役し、対応します。苗箱は育苗センターからハウスまでトラックで運び、運ばれた苗箱はハウス内に置くから詰めて並べます。ハウス内は蒸し暑く大変ですが、熱中症に気を付けながら頑張ります。

苗箱を並べ終えたら、ハウス内のスプリンクラーでしっかり水やりをします。水やり後、苗箱の上に白いシート（健苗シート）を敷きます。これも手作業で行います。


ハウス内に並べられた苗箱

全面に敷かれた健苗シート

健苗シートは、太陽光を遮断することにより苗焼けを防ぎ、保温効果によって苗の成長を助ける効果があります。

数日後、健苗シートをめくると緑化苗に成長し、引き続きハウス内で育てます。

数日後、成長した緑化苗